



駐日スロヴェニア共和国大使館

<http://www.tokyo.embassy.si/>



スピリットスロヴェニア投資促進庁

<https://www.sloveniabusines.eu/>



日本スロヴェニアビジネス協会
Japan Slovenia Business Council

<https://www.jsbc-jp.org/>

I FEEL
SLOVENIA

Invitation to Slovenia

ービジネスとしての、スロヴェニアの魅力をご紹介しますー



写真提供：株式会社安川電機



写真提供：株式会社安川電機



企画／駐日スロヴェニア共和国大使館、日本スロヴェニアビジネス協会
協力／スピリットスロヴェニア投資促進庁
編集・制作／日本スロヴェニアビジネス協会事務局・関西ペイント株式会社
発行日／2020年12月

*本誌掲載内容につき許可なく無断転載することを禁じます。



I FEEL SLOVENIA

CONTENTS

目次、巻頭言	1
ごあいさつ	2
なぜ投資先としてのスロヴェニアなのか	3
魅力的な投資環境	
1. 充実したインフラーヨーロッパ・その先へのゲートウェイ	4
2. スロヴェニア政府による海外直接投資の誘致政策	5
3. グリーンでクリエイティブ、そしてスマートな経済	
GREEN. 環境に配慮した循環型経済	7
CREATIVE. 企業の成長と付加価値を生み出す、質の高い労働力	8
SMART. 効率的なソリューションによる安定した経済環境	9
スロヴェニアが誇るハイテク&ニッチ産業のご紹介	10
スロヴェニア進出の日本企業成功事例	11
スロヴェニア製品の日本での成功事例	13
JSBC 会員リスト (法人・団体・名誉理事・個人)	17



日本スロヴェニアビジネス協会 Japan Slovenia Business Council

この度、駐日スロヴェニア共和国大使館及びスピリットスロヴェニア投資促進庁と共同でパンフレットを刊行できることを大変光栄に存じます。パンフレット作成において、多大なるご協力を頂きました関係者の皆様に感謝申し上げます。

スロヴェニアは人口約200万人・面積は日本の四国と同じくらいという小国ですが、歴史的に他国との競争の中で生き残ってきたため、IT 技術など独創的なものを創り出し、さらにそれを改善していく能力を持ち合わせた人材が多い国です。最初に行動を起こすことも好きな国民性で、まさに「進取の精神」に富んだ国です。

本パンフレットを手にとって頂いた皆様に、ビジネスにおけるスロヴェニアの魅力を知って頂き、少しでもスロヴェニアにご興味を持っていただければ幸いです。

日本スロヴェニアビジネス協会は、スロヴェニアに関するビジネス・文化等の情報提供、交流の場を作り、広く皆様にスロヴェニアをより身近に知って頂くことに努めています。今後も日本とスロヴェニア両国のビジネス・親善・友好関係の発展に貢献していきたいと考えています。



日本スロヴェニアビジネス協会
理事長 **西原 宏俊**
(関西ペイント株式会社)

ごあいさつ



駐日スロヴェニア共和国大使館

まず最初に、このパンフレットを作成するにあたり尽力して下さった日本スロヴェニアビジネス協会、スピリット・スロヴェニア、およびスロヴェニア大使館関係者に感謝します。このパンフレットのおかげでスロヴェニアのビジネス環境、および投資先としてのポテンシャルを日本企業の皆さんに理解していただけると期待しています。

この数年でスロヴェニアと日本の相互信頼と友情が経済協力の面でも深まっています。スロヴェニアにとって日本からの投資の重要性は高まっており、特に現在進行中のエネルギー、ロボティクス、そしてAI の各分野での共同プロジェクトは期待されています。両国が推進するソサイエティ 5.0 の実現のためのアイデアは日々生まれているのです。

2021年7月からスロヴェニアはEU 議長国となり、東京でオリンピック・パラリンピックが開催され、ますます両国の交流する機会が増えるでしょう。

スロヴェニアと日本の経済協力にはまだまだ発展の余地があり、このパンフレットが加速させてくれると期待しています。

日本の皆さんには是非スロヴェニアに来てその美しい自然と美味しい料理とワインを楽しみながら、面白いビジネスチャンスも見つけて頂きたいと思っています。



駐日スロヴェニア共和国大使
H.E. Dr. Ana POLAK PETRIČ
アナ・ポラック・ペトリッチ



スピリットスロヴェニア投資促進庁



スピリットスロヴェニア投資促進庁
長官代理
Dr. Tomaž Kostanjevec
トマジュ・コスタニェヴェツ

日本とスロヴェニアは地理的には離れていますが、両国は伝統的に良好な関係を築いてきたことで、あらゆる協力関係において、親近感を持っています。

中・東欧への進出を目指す日本企業にとってスロヴェニアには多くのメリットがあります。アルプスと地中海に挟まれた戦略的な位置にあるスロヴェニアは、高いスキルを兼ね備えた労働力、優れた研究開発力、高い経済安定性が自慢です。また環境に配慮したクリエイティブでスマートなスロヴェニア企業は、信頼できるビジネスパートナーとなるでしょう。

スロヴェニアの魅力については、既に多くの日本人投資家や、スロヴェニアへ進出している日本企業の間で広く知られています。

両国と経済のパートナーシップを推進している日本スロヴェニアビジネス協会の活動に感謝しています。日本とスロヴェニアの協力関係の未来は明るいと確信しています。

なぜ投資先としてのスロヴェニアなのか？

新規投資先や信頼できるビジネスパートナー、ビジネス拠点をお探しなら、ぜひスロヴェニアをお選びください。
ヨーロッパの中心に位置し、欧州諸国へのアクセスの良さが魅力のスロヴェニアは、高い経済安定性・競争力、優秀な労働力、優れた研究開発力を備えたビジネスに最適な国です。

労働力

外国語能力 ※1 デジタルスキル ※1 労働生産性 ※2

中東欧 **第1位**

出典：※1 IMD World Competitiveness 2019, ※2 IMD World Competitiveness Yearbook 2018

経済安定性

世界 **第1位**

出典：WEF global competitiveness report 2019

研究開発能力

世界初の国際人工知能研究センター設立

安全な国・治安の良さ

世界安全な国ランキング

第8位

一般犯罪の発生数が近隣諸国に比べ少ない

出典：Global Peace Index 2019

インフラ

エネルギー供給安全性

世界 **第2位**

出典：World Energy Council 2018

GDP

一人当たりのGDP ※1

中東欧 **第1位**

GDP 成長率 ※2

EU **第6位**

出典：※1 The World Bank 2019, ※2 Eurostat 2018

直接投資の障壁が低い国

OECD加盟国中 **第3位**

出典：OECD FDI Regulatory Restrictiveness Index 2019

スロヴェニア基本概要

中央ヨーロッパに位置するスロヴェニアは、アルプス山脈南東端の山岳地帯、イタリアとクロアチアに挟まれたアドリア海沿岸部、ハンガリー大平原の一部である穀倉地帯を持つ自然豊かな工業先進国です。

- 首都：リュブリャナ
- 人口：209万人(2020 スロヴェニア政府統計局)
- 面積：20,273 km² (四国とほぼ同じ)
- 公用語：スロヴェニア語
- 通貨：ユーロ
- GDP：537億ドル(2019 世界銀行)
- 主要産業：工業製品、情報通信技術、バイオテクノロジー、自動車等輸送機械、電気機器、金属加工、医薬品、観光
- 国際社会との関係：EU加盟国(2004)、NATO加盟国(2004)、シェンゲン協定加盟国(2007)、OECD加盟国(2010)



魅力的な投資環境

1. 充実したインフラ —ヨーロッパ・その先へのゲートウェイ—

EU、東欧、バルカン諸国、南東欧という近隣市場への容易なアクセスが可能な、立地の良さが強みです。

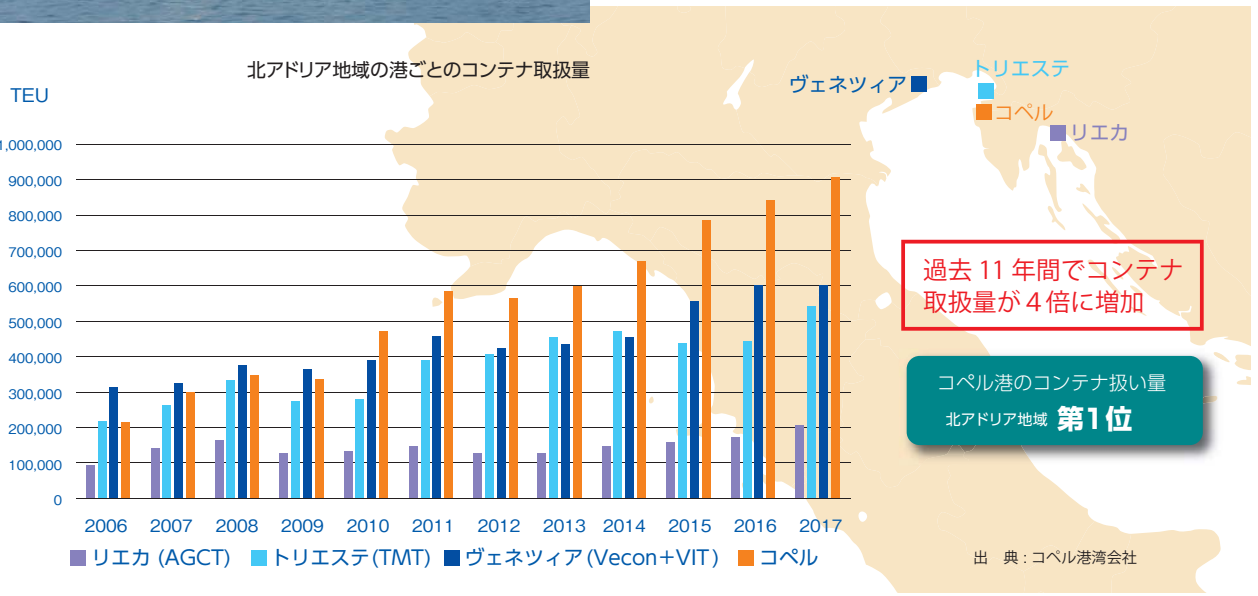
1. 国際港 コペル港

コペル港湾会社 (Luka Koper) が運営する、スロヴェニア唯一の国際港であり、高性能な港湾インフラが整った、地中海沿岸でも有数の港である。



<コペル港の強み>

- ・北アドリア地域の中で、コンテナ取扱量、第1位。
- ・ヨーロッパ北部のハンブルク港等と比べ、日本から地中海地域・南東欧諸国への輸送期間が約7日間短縮可能。
- ・年間362日稼働による柔軟な対応。
- ・一つの会社による全ターミナルの運用・品質管理。
- ・労働組合とのノー・ストライキ協定、事故の少なさ等に基づく高い信頼性。
- ・コンテナ用・車両用ターミナルの増設など、取扱能力を拡張中。



2. 高速道路
首都リュブリャナを中心に国土を北西～南東、南西～北東に横断する高速道路網を有し、高速道路の道路全体に占める割合はEU加盟国の平均を上回る。



3. 鉄 道
鉄道による貨物輸送量は、前年比14.4%増の2,130万トン(2018年)。その内、86%がトランジットを含む国際輸送。



2.スロヴェニア政府による海外直接投資の誘致政策

現在スロヴェニアは国をあげて海外直接投資（FDI）を誘致するための政策をとっており、直接投資の障壁が低い国ランキングでは、OECD 加盟國中、第3位です。

(OECD FDI Regulatory Restrictiveness Index 2019)

法人所得税 **19%**
実効税率 **13.12%**

(スロヴェニア財務省 2019)

*減税措置

- ・ R&D にかかる投資：最大 100%の税控除
- ・ 工場、機材などの設備、無形資産（特許等）への投資：最大 40%の税控除

迅速かつ簡単にビジネスの開始が可能

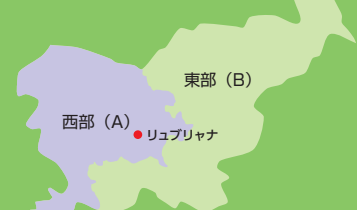
- ・ 法人登録手順はゼロコストで2ステップのみ
- ・ 有限会社登録に要する期間は最長5日、最低払込資本金は 7,500 ユーロ

200 以上の ビジネス特区

地域により補助金
制度あり(右図参照)

投資額に対する補助金の割合

地 域	小規模 企業	中規模 企業	大規模 企業
西部 (A)	30%	20%	10%
東部 (B)	45%	35%	25%



VAT（付加価値税）

22%
(標準税率)

9.5%
(食品などは軽減税率適用)

キャピタルゲイン税率

0~27.5%

*保有期間により異なる

固定資産税

0%

対スロヴェニア海外直接投資（FDI）

海外からスロヴェニアへの投資は、年々増加しています。2018年の対スロヴェニア FDI 残高は、前年比 8.5%増加の 151 億ユーロであり、その投資国の大半は、オーストリア、ルクセンブルグ、スイス、イタリア、ドイツをはじめとする欧州諸国です。

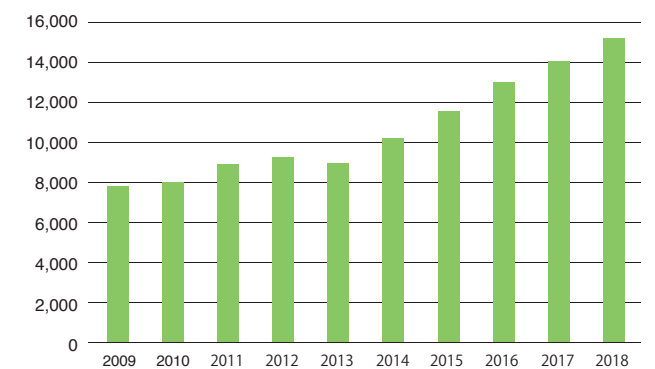
日本・スロヴェニア間の FDI

日本は、情報通信技術及びロボット技術等、スロヴェニアの経済発展にとって戦略的重要性の高い分野における投資実績があることから、スロヴェニア政府が経済外交に力を入れていく「優先市場」の国のうちの1つに指定されており、近年日本からの対スロヴェニア投資は増加傾向にあります。

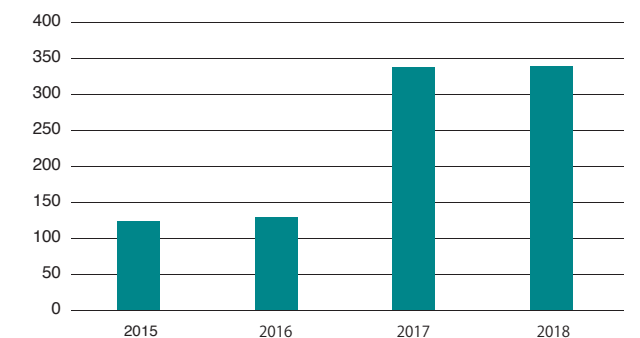
2016年には日本が提唱する「ソサイエティ 5.0」の実現に向けた一環として、新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEDO とスロヴェニアの送電システム企業 ELES が共同でスマートコミュニティ(スマートグリッド)の全国規模の実証試験事業を行うことを決定しました。

日本からは NEDO と(株)日立製作所が参加してスロヴェニア国内で 43 億円規模の試験プロジェクトを行っています。

2016年10月に(株)安川電機は産業用ロボットの欧州製造拠点をスロヴェニアに設置することを決定し、2018年5月には産業用ロボット用のインバーター等の製造工場建設にかかる追加投資を発表。また、関西ペイント(株)が塗料業界大手のヘリオス社の株式を買収、住友ゴム工業(株)がロンストロフ社の子会社として精密医療用ゴム製品の製造工場建設を決定するなど、日本企業による投資は増加傾向にあります。



海外からの対スロヴェニア FDI 残高推移 (百万ユーロ)
出典：Bank of Slovenia (2019)



日本からの対スロヴェニア FDI 残高推移 (百万ユーロ)
出典：ultimate investing country



3.グリーンでクリエイティブ、そしてスマートな経済



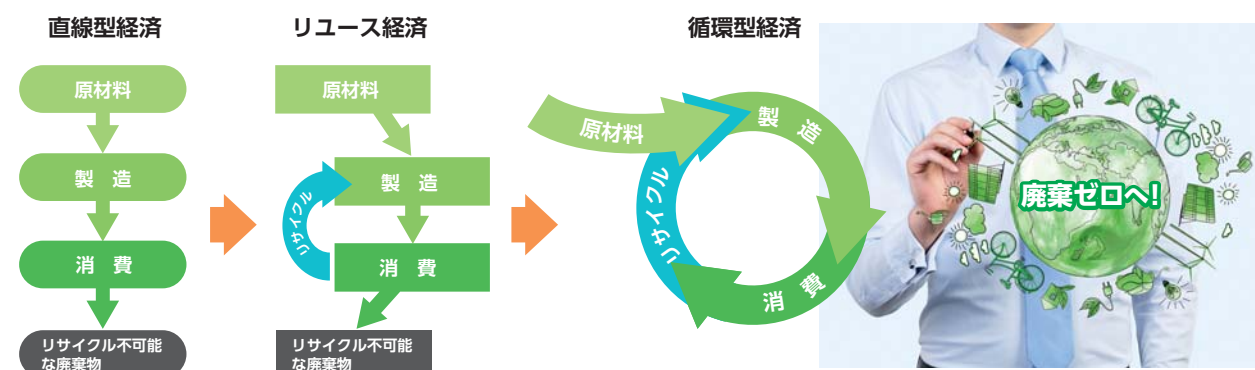
Empowering business
GREEN. CREATIVE. SMART

GREEN. 環境に配慮した循環型経済

循環型経済（サーキュラーエコノミー）とは、従来の「Take（資源を採掘して）」「Make（作って）」「Waste（捨てる）」という直線（リニア）型経済システムのなかで活用されることなく「廃棄」されていた製品や原材料などを新たな「資源」と捉え、廃棄物を出すことなく資源を循環させる経済の仕組みのことを指します。

スロヴェニアは、2018年より、循環型経済を実施するためのガイドラインを設けている数少ない国の一つです。持続可能性・エコ技術・企業の社会的責任に焦点を当て、二酸化炭素の排出量削減と自然・社会環境に配慮しながら、持続的な経済成長を目指しています。

直線型経済から循環型経済へ



大気汚染指数

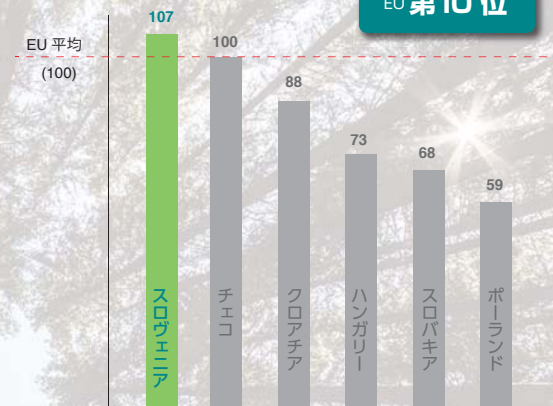
世界 第11位



出典：Numbeo's Quality of Life Index 2020

エコイノベーション指数

EU 第10位



出典：EC's Eco Innovations 2018 Index

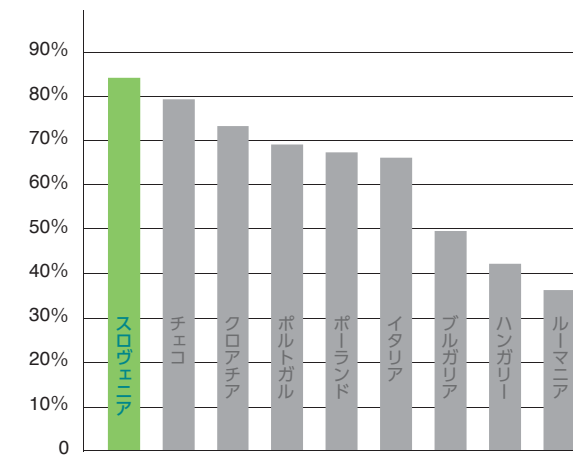
CREATIVE. 企業の成長と付加価値を生み出す、質の高い労働力

スロヴェニアの経済成長の源は、その質の高い労働力にあります。スロヴェニアの労働力は、伝統ある産業と高水準の学校教育により生み出された、技術と革新のためのポテンシャルを有しており、外国人投資家・企業より高い評判を得ています。若い労働者に限らず、幅広い年齢層でITスキルやデジタルリテラシーを有している点も、魅力の一つです。

・労働人口（25歳-64歳）の84%が、外国語を話すことができ、63%は2か国語以上の外国語を話すことができる。

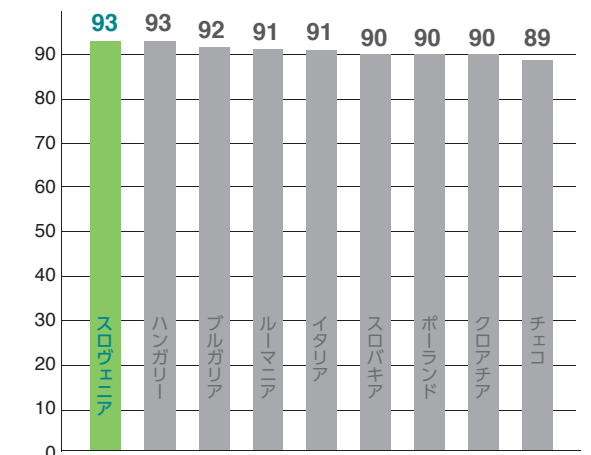
・労働人口の内、55%が高等教育を修了し、36%が学位を取得。OECDによる2018年学習到達度調査（PISA）で、世界第13位。
・スロヴェニアの中小高校では、母国語以外の2か国語が必修。教育は大学まで無償。
・会社員に限らず、小売店従業員やタクシー運転手、市場の売り子などでも英語が日常的に通じる。
・デジタルスキルは、中東欧で1位。企業によるデジタルツールの活用度でも、中東欧1位。

労働人口 25-64 歳における多言語話者の割合



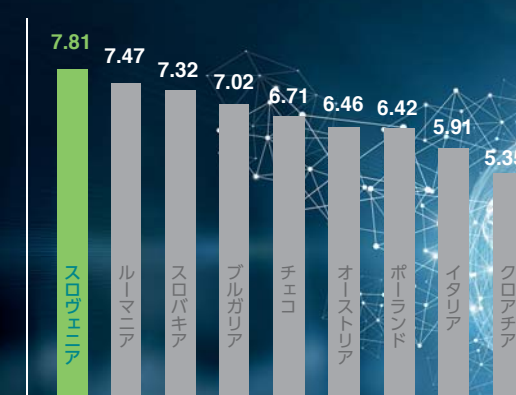
出典：European Commission and Eurostat

英語習熟度 (TOEFL スコア)



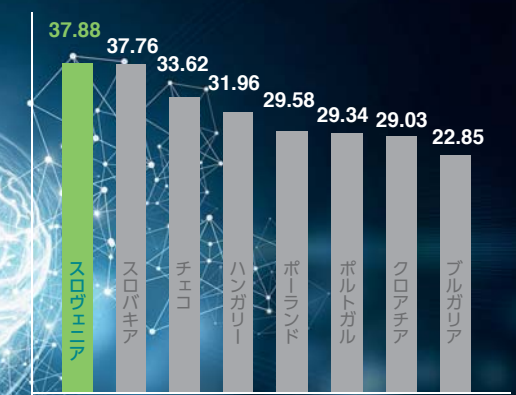
出典：IMD World Competitiveness 2019

デジタルスキル調査 (スコア 0-10)



出典：IMD World Competitiveness 2019

労働者 1 人あたりの労働生産性 (€/時)



出典：IMD World Competitiveness Yearbook 2018

SMART. 効率的なソリューションによる安定した経済環境

世界市場で競争力を獲得するのに役立つ、効率的でハイテクなソリューション、サービス、製品が数多くある大きな可能性を秘めた国です。

従業員1万人当たりの産業ロボット導入率は世界第16位で、世界平均の約2倍。

経済競争力を維持するためのイノベーションに注力する研究者の国です。

- ・スロヴェニアは研究開発(R&D)に非常に重点を置いている。
- ・1000人あたりの研究者数は約4.5人で、中東欧の中で最高水準。
- ・国際的な研究機関である、ヨージェフ・ステファン研究所には2019年にユネスコによる世界初の国際人工知能(AI)研究センターIRCAIが設立された。
- ・スロヴェニア知的財産庁が処理する特許出願は平均1日に1件。
- ・スロヴェニアの大学生の41.2%が科学と工学の学位を取得(2018)。
- ・投資を決定する際に重要な参考指数となるブルームバーグ・イノベーション指数(2020)では、スロヴェニアは200か国中総合21位。(日本は12位) 前年の31位から大幅に順位をあげ最も成長著しい国である。



写真提供：株式会社安川電機

経済競争力

中東欧 **第2位** (世界第35位)

出典：WEF global competitiveness report 2018

1000人あたりのR&D研究者の数



出典：IMD 2019 (data 2014)

スロヴェニアが誇るハイテク&ニッチ産業のご紹介

スロヴェニアでは自動車、航空宇宙関連をはじめとする各種工業製品製造から情報通信技術、バイオテクノロジー分野まで幅広いビジネスの可能性があります。

自動車産業

- ・高級チタン製排気システム(エキゾースト)のグローバルリーダー、Akrapovic 社
- ・自動車のガススプリング製造のグローバルリーダー、Bansbach社、Obkov社など
- ・ディーゼルコールドスタートシステムの生産世界2位

航空宇宙産業

- ・小型軽量飛行機のハイテク部門のパイオニア
- ・小型無人航空機システム(UAS)のグローバルリーダー PIPISTREL 社

電気機器

- ・世界1位のバイオマス燃焼コントローラ生産
- ・掃除機用モーターセグメントの世界的生産拠点
- ・DIY 液冷システム生産はヨーロッパと北米でのシェア1位

工業用機械

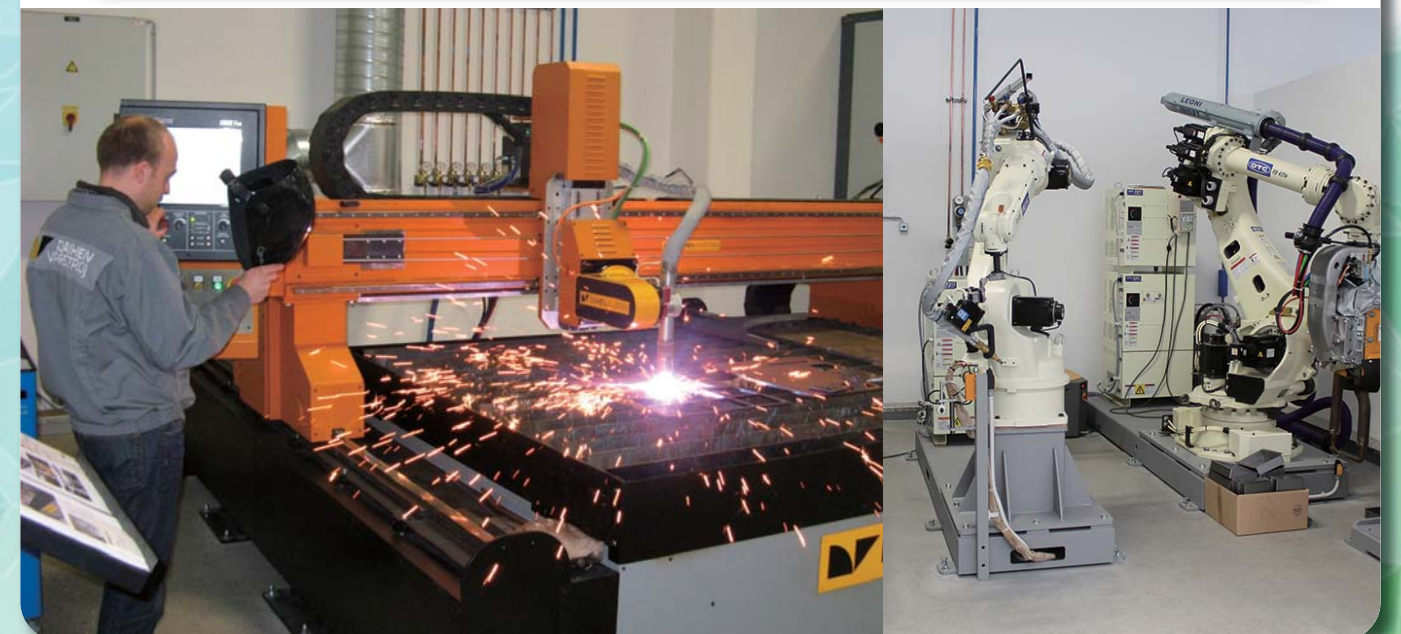
- ・伐木用ウインチ、薪プロセッサのグローバルリーダー
- ・クランクシャフトプロセッサ機械
- ・工業用ナイフ生産は世界でもトップ10に入る

ICT産業

- ・物理学実験・陽子線治療などに用いる粒子加速器コントロールシステムの世界的リーダー
- ・加速器内の素粒子ビーム位置計測の計装サプライヤー&アドバイザー世界1位
- ・工場・サプライチェーンに特化した企業ラベリングソフト
- ・電子機器のテスト計測装置の生産

バイオテクノロジー

- ・ヨーロッパにおける予防的遺伝子検査によるヘルスケア&ライフスタイルソリューションをリード
- ・セルロースナノクリスタルの商業生産のグローバルリーダー
- ・世界的なバクテリオファージ生産の医薬品製造受託機関(CMO)



スロヴェニア進出の日本企業成功事例

YASKAWA
YASKAWA ELECTRIC CORPORATION

株式会社安川電機
<https://www.yaskawa.co.jp/>



写真提供：株式会社安川電機



写真提供：株式会社安川電機

最新のIT技術と長年培ってきたモーションコントロール技術を融合させたソリューションを生産現場に適用し、ものづくりの進化を実現しています。

株式会社安川電機は、ドイツ法人を通じ1990年よりスロヴェニアに現地法人2社を有し、ロボットシステムや周辺機器の生産・販売を手掛けてきました。さらに2019年4月にロボット工場と開発センターを新たにオープンしました。この投資により、拡大が期待される欧州市場の顧客ニーズに対応すると共に、新たなサプライチェーンを構築し現地市場に迅速に供給することが可能となりました。

当社3番目のロボット生産拠点をスロヴェニアにした理由は、同国には工業の歴史が長く、産業や大学・人材が豊富で優秀かつ勤勉な人材が集まっているからです。特にリブニツァには、スキルの高い技術者・作業者が沢山います。

また、欧州のほぼ中心に位置し、地中海に面し海運面で日本（および米州）に近く、ロボット生産に必要な日本製の部品を最短時間で輸送が可能です。これは、スロヴェニアだけが持つ絶対的な魅力です。

新工場で生産される主なロボットは、7～225kgの可搬質量をもつMOTOMAN-GPシリーズで、月産150台を製造しています。

新工場の狙いは、ポテンシャルの大きい欧州市場に向け、Made in EUを実現し、欧州市場に最適なロボットをスピーディーに供給する事で、欧州のお客様との関係をさらに強化させて参ります。

DAIHEN

DAIHEN
VARSTROJ

株式会社ダイヘン
<https://www.daihen.co.jp/>



ダイヘンは変圧器・溶接機・ロボット・半導体製造装置用高周波電源等の製品提供を通じて、暮らしの基盤となる電力供給やものづくりを支えています

株式会社ダイヘンは、スロヴェニア No.1、中東欧屈指の溶接機の名門企業であるVARSTROJ（バストロイ）社を2014年ダイヘングループの傘下に入れ、DAIHEN VARSTROJ 社を設立することで、ダイヘンの技術開発力とバストロイの生産技術力を融合させ、溶接機、ロボットシステムの分野において欧州の高度なものづくり産業に貢献し、お客様から高い評価を頂いています。

スロヴェニアにおいて溶接機シェア 44%、ロボットシェア 22%を占め、中東欧を中心に高いマーケットシェアを維持拡大しております。

スロヴェニアは欧州のほぼ中央に位置しており、西欧及び東欧の主要マーケットへのアクセスが非常に便利で、欧州戦略の要として Made in EU の溶接機、ロボットシステムを欧州全域に販売拡大することが出来ております。

DAIHEN VARSTROJ 社員は意識も高く自国スロヴェニアから全ヨーロッパへ向けて最先端の技術を発信できることを誇りと感じながら日々活発な活動に取り組んでおり、社員一丸となって「溶接、ロボットの総合力でお客様の価値づくりに貢献できる会社」を目指しています。

KANSAI
PAINT

MITSUMI & CO.

HELIOS

関西ペイント株式会社
<https://www.kansai.co.jp/>

三井物産株式会社
<https://www.mitsui.com/jp/ja/>



塗料事業で培った技術と人財を最大限に活かした製品・サービスを通じて、人と社会の発展を支えます。

関西ペイント株式会社は、スロヴェニアに中核会社を保有する“Kansai Helios Coatings GmbH”を2017年に100%買収しました。その後、2018年に三井物産株式会社にも資本参加をいただき、現在、中東欧・西欧・ロシアなど欧州各国での事業展開を行っております。

Kansai Helios Group は、全体で約2,100名程度の従業員を有し、モーターや発電機の中で使用される「絶縁塗料」や「鉄道車両塗料」などに代表される、工業用塗料分野に強みを持つ塗料メーカーです。スロヴェニアのみならず、オーストリア（本社機能）・ドイツ・イタリア・クロアチア・ウクライナ・セルビア・ロシアにて製造拠点を構え、欧州・CIS圏に広く販売をしております。スロヴェニア国内には、5工場・R&D拠点があり、約1,000名が勤務しております。弊社が考えるスロヴェニアの魅力は、“人々の誠実さ”です。スロヴェニア人は、実直で仕事熱心な方が多く、こちらがお願いしたことも迅速に誠意を持って取り組んでくれるので、とても信頼できるパートナーであると感じます。弊社子会社社員のみならずホテル・レストランなどで働かれている方々は英語の習熟度が皆さん高く、また、日本人にとっては物腰柔らかい方が多いことからとても親しみやすいお国柄と感じています。

今後とも、スロヴェニアを拠点として、欧州のみならず世界各国にある弊社海外拠点とのビジネスを展開していく計画です。

豊田通商株式会社

豊田通商株式会社
<https://www.toyota-tsusho.com/>



現地・現物・現実、チームパワー、商魂を軸に、当社グループ社員が一丸となって、新しい価値を創造し、豊かな社会づくりに貢献します。

豊田通商株式会社は1998年にスロヴェニアにトヨタの自動車の総輸入販売代理店として Toyota Adria d.o.o を設立しました。その後、展開国を開拓し、現在は本社を構えるスロヴェニアに加え、クロアチア、セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロ、コンボの6か国でトヨタ・レクサスの自動車の販売並びにアフターサービスを行っております。

スロヴェニアにおいては、Toyota Adria d.o.o は設立以来、現地のオーナー様と協力して販売ネットワークの拡充に努めて参りました。現在は全土13拠点の小売店からお客様にサービスを提供しております。

弊社が考えるスロヴェニアの魅力は、欧州の中心に位置する“好立地”と、豊かな自然と質の高い教育が生んだ“人々の仕事に対する真面目な姿勢”となります。特に後者については、従業員並びにお客様・ビジネスパートナー様との日々のお付き合いの中で感じており、お互いの信頼を土台に仕事を進められる点は大きな魅力と考えております。

今後もスロヴェニアのお客様に必要とされるサービスを提供できるよう、また同国の発展に寄与できるよう全従業員と一丸となって邁進して参ります。

スロヴェニア製品の日本での成功事例



<http://www.yoursnet.com/wine/>



日本の料理に合う素晴らしいワインをご紹介します。

私ども株式会社ユアーズ・コーポレーションは不動産を扱う会社ですが、2010年12月に酒類卸・小売・通信販売免許を取得致しました。長年、海外のレストランやワイナリーを訪問して培ってきた知識・経験を生かして、まだ日本で知られていないワインを探し求めた所、スロヴェニアに辿り着きました。

スロヴェニアのワイン造りは、紀元前に溯る長い歴史を持っており、現存する世界最古の葡萄の木（樹齢400年以上）はスロヴェニアのマリボルにあります。

また、一人あたりのワイン消費量が常に世界トップ10入りしているスロヴェニアでは、造られたワインのほとんどは国内で消費されており、世界での流通量も少なく貴重なものとなっています。

そんなスロヴェニアで出会った、日本料理に合うこだわりの逸品ワインを、日本の方々にお届けしております。



ブルー・グリーン・グループ株式会社
<http://bluegreengroup.jp/>

chipolo



毎日をよりスマートに、よりスタイリッシュに
～優れたテクノロジーをもつスタイリッシュなアイテムを世界から

私共Blue Green Group株式会社は2012年よりITに関連する新しいサービス、アイテムを広く海外より日本に紹介してまいりました。取り扱いアイテムの1つであるスロヴェニア製BluetoothトラッカーChipolo（チポロ）はシンプルな機能と使い易さ、デザイン性の高さと日本で発売以来高い人気を得ています。機能の改善や追加など、常に進化している事が新規のユーザーだけでなく多くのリピーターを得ることができている理由の一つとも言えるでしょう。近年はエシカルな商品として海洋プラスチックゴミのリサイクルプラスチックを利用した環境に配慮したシリーズChipolo Oceanの販売をはじめました。これからは現地企業と協力しつつChipoloを広めていけたらと思っております。



レボ・エア株式会社
<http://www.revo-air.com/>



空圧関連機器のコンサルティング商社。
隠れた名品、スロヴェニアワイン・食用オイル輸入商社。

レボ・エアは、スロヴェニアにございます DOMEL d.o.o. 社で製造しております DCモーター搭載ターボブロアー（空圧発生機器）の販売代理店です。同社は、スロヴェニア北西の山に囲まれた自然豊かな街、Zeleznikiに本社があり、また、中国にも生産拠点をもち、世界市場で小型・高速回転・高性能のブロアーを販売しております。その優れた製品信頼性から、産業用・家庭用の集塵機・掃除機や、ハンドドライヤー、理化学機器、燃料電池などの幅広い用途の製品に使用されております。

また、弊社では、個性的で美味しいスロヴェニア産ワインや食用オイル（オリーブオイル・パンプキンシードオイル）も輸入販売しております。ワイナリー4社、オリーブオイル1社、パンプキンシードオイル1社と契約し、スロヴェニアの豊かな食文化をご紹介します。



<http://haltek.co.jp/>



世界最先端の医療技術の導入を全力でサポート！
世界の医療機器・美容機器情報をいち早くお届けします。

ハルテック株式会社は、フォトナ d.o.o 社製 医用レーザー装置「Fotona スムースレーザー」の日本総代理店です。昨年創立 55 周年を迎えたフォトナ社は、世界でも類をみない老舗のレーザー製造企業で、部品の研磨から本体の開発製造まで一貫して自社で行うインハウス製法により高い品質を誇る世界オンリーワンの特殊な医療用レーザー装置を製造しています。別名粘膜レーザーとも呼ばれるフォトナ社独自のレーザー装置は、口腔内や鼻腔・眼瞼・頭髪・デリケートゾーンの低侵襲な治療に使用されています。フォトナ社は、高い技術力に加え、自社製品の教育にも熱心で、自社保設の研究研修施設で世界中のドクターのトレーニングを行っています。年に一度スロヴェニアで行われるユーザーミーティングには、毎年世界中から500人以上のドクターが集まり、豊かなスロヴェニアの自然や食事を楽しみながらレーザー治療の研究発表を行っています。日本からもすでにたくさんのドクターがこの会に参加しています。

真面目で勤勉ですが、フレンドリーで熱いパッションも持つスロヴェニア人によって製造された高品質なレーザー装置は、最先端の医療現場で今日も活躍しています。

スロヴェニア製品の日本での成功事例



株式会社ザリア
<http://www.zaria-jpn.com/>

体に優しい食材をお届けします

美しい自然に恵まれ、ミネラル豊富なスロヴェニアの土地で育った葡萄は匠の高度な技術により最高級のナチュラルワインへと仕上げられます。弊社はこれらのワインと食材の輸入販売、また両国間の幅広い友好促進、文化交流、経済並びに政治活動をサポートしスロヴェニアと日本企業の架け橋を担っています。



株式会社塩崎ビル
<http://www.shiozaki-bldg.co.jp/>

世界一の塩、ピランソルト

当社はスロヴェニアのピランの塩を日本に紹介し、販売しております。ピランソルトとは、その伝統製法がスロヴェニア無形文化遺産にも登録され1200年以上たった今もなお、機械は一切使用せず全て手作業で収穫されています。海と山、両方のミネラルを含み、苦味がなく、バランスの良いうま味の中に、甘さすら感じられる幻の結晶塩はかつてピランの地を収めていたハプスブルグ家にも献上されました。

2006年、当社前代表取締役がスロヴェニアワインコンクールに審査員として参加し、同国大統領から国家勲章が授与された事がきっかけとなり、当社とスロヴェニアとの交流が深まりました。

当社は、(株)ミエール(1885年創立)のワイナリー経営に携わる中で、自然と共生し、伝統に学び、五感にふれる人間の食文化に深くかかわるうちに、塩に興味を持ちました。「世界一の塩」である、ピランの塩の販売をスタートし、日本総代理店として契約し、今日に至ります。

現在、リュブリャナ大学のNina Gunde-Cimerman教授と山梨大学の片岡良太助教授によるピランの塩の共同研究も始まっており、他国の塩との差異が明らかとなってきました。益々、日本中にもっとこの味を知って頂き、お客様自身が自慢して下さる様、広報に努めたいと考えております。



株式会社オーシャンブリッジ
<https://www.oceanbridge.jp/>

つかえるITを、世界から。 Useful IT from all over the world.

海外には、日本でまだ知られていないソフトウェアや IT サービスが数多くあります。弊社はそこからお客様に喜ばれる便利でユニークな製品を見つけ出し、ローカライズを行い日本市場に合わせて販売することで、国内企業の生産性向上や競争力強化に貢献することを第一の使命としています。

スロヴェニアの国家研究機関からのスピンアウトとして設立された XLAB d.o.o. 社とは、2007年6月の業務提携以来ビジネスパートナーとして交流を深めています。リモートコントロールツール「islonline」は、欧州や米国をはじめ世界100カ国300,000社以上、国内では2,000社以上の企業様にご利用いただいております。



islonline



Cosylab Japan 株式会社
<http://www.cosylab.com/>

Cosylabは、世界で最も複雑で正確かつ高度なシステム向けに最先端のソフトウェアと電子機器を構築および統合するグローバルテクノロジーカンパニーです。

Cosylabはスロヴェニアのヨーゼフ・ステファン研究所からのスピンオフとして2001年に設立され、世界最大の科学プロジェクト向けの制御システムの構築から、癌の粒子線治療の為に革新的なソフトウェアソリューションの開発まで事業を拡大して参りました。非常に複雑なデバイスの物理的な動作原理を理解し、同時に大規模な分散制御システムのソフトウェアとハードウェアのエンジニアリングを習得する多くのエンジニアと物理学者が在籍しています。

日本には2011年に進出し、当初の加速器向けの制御システムへの取り組みから、近年は癌治療システムへと事業を拡大しております。

スロヴェニアには、経験と知識を革新、創造的思考、環境への配慮と組み合わせるといふ長い伝統により、イノベーションと創造性のパイオニアとして、スロヴェニアの経済発展と成功の背後にある強みとなっています。



JSBC 法人会員リスト
スロヴェニア進出企業

JSBC（日本スロヴェニアビジネス協会）では随時入会を承っております。お問い合わせはホームページからお願いします。

	会員企業名	業 種	現地法人名	従業員数 (2020 年 6 月末時点)	スロヴェニア事業内容	出資比率	年 月	現地法人 Web サイト URL
1	株式会社安川電機	製造業	YASKAWA Europe Robotics d.o.o.	170 名	ロボットおよび周辺機器の開発・製造・販売	——	2017 年 5 月	https://www.yaskawa.si/
2	株式会社ダイヘン	製造業	DAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d.	148 名	溶接機器及びロボット、切断システムの製造・販売	ダイヘン 100%	2014 年 5 月	http://www.daihen-varstroj.si/
3	住友商事株式会社	卸売業	——	——	——	——	——	——
4	ゲブルダーバイス株式会社	物 流 運送業	Gebrüder Weiss D.O.O. Ljubljana	70 名	航空輸送・海上輸送・陸上輸送・倉庫業	Gebruder Weiss 100%	1995 年	https://www.gw-world.com/si/
5	豊田通商株式会社	卸売業	TOYOTA ADRIA d.o.o.	50 名 (トヨタアドリアグループ 全体では 230 名)	トヨタ・レクサス車の輸入販売代理店業	豊田通商 96.5% 豊田通商 ヨーロッパ 3.5%	1998 年 1 月	https://www.toyota.si/
6	関西ペイント株式会社 三井物産株式会社	製造業 卸売業	HELIOS TBLUS d.o.o. (Kansai Helios Coatings GmbH 傘下)	1,038 名 (Kansai Helios Group 2,102 名中)	塗料・接着剤・化学製品の製造・販売	関西ペイント 80% 三井物産 20%	2017 年 3 月 2018 年 10 月	https://www.helios-group.eu

スロヴェニア製品取り扱い企業

	会員企業名	業 種	事業内容 (スロヴェニア関連)	現地パートナー企業
7	株式会社ユアーズ・コーポレーション	卸売業	スロヴェニアワインの輸入販売	DVERI PAX、Marjan Simčič etc
8	ブルー・グリーングループ株式会社	卸売業	IT 関連アイテムの輸入販売	Chipolo 社
9	レボ・エアー株式会社	卸売業 小売業	空気圧機器・ワイン・食用オイルの輸入販売	DOMEL・KLET BRDA・LISJAK・ SVETI MARTIN・KORENIKA & MOSKON・KOCBEK など
10	ハルテック株式会社	医療機器 輸入販売	スロヴェニア製医療用レーザー機器の 輸入販売	Fotona d.o.o.
11	株式会社ザリア	卸売業	スロヴェニアワインの輸入卸売販売・ 産業技術系企業との提携等	ワイナリー各社： Scurek,Steyer,Batic, Erzetic,Marof,Radgonske
12	株式会社オーシャンブリッジ	情 報 通信業	リモートコントロールツール「islonline」 の国内総販売代理店	XLAB d.o.o.
13	株式会社エフティ・オークラ	卸売業	——	——
14	Cosylab Japan 株式会社	IT	制御システムの開発	Cosylab d.d. (本社)

団 体

15	縄文サイエンス＆アート	——	縄文時代の自然との共存、食、アート・匠などをサイエンスとアートの視点から探求する国内外の交流イベントを実施
----	-------------	----	---

名誉理事

石樽 利光	元駐スロヴェニア日本大使	2011～13 年のスロヴェニア在勤期間中、沢山の企業を訪問し、ニッチ産業分野で優れた最先端技術を持つ企業が多いことを知る。 2012 年デュッセルドルフで初めてのスロヴェニア企業紹介セミナーをスロヴェニア政府・現地 JETRO と共に成功裏に開催
-------	--------------	---

JSBC個人会員リスト

	氏 名	所 属	スロヴェニアとの関わり
1	橋口 卓也	明治大学 農学部教授	スロヴェニアの食料・農業・農村事情の研究 スロヴェニアの農産品及び加工品の日本への紹介
2	福田 順一	九州大学大学院 理学研究院 教授	リュブリャナ大学との共同研究（物性物理学）
3	上田 仁智	野村総合研究所	大学在学中、1 年間休学をし、スロヴェニア Cosylab 社にてインターンに参加。リュブリャナに在住経験あり。
4	神足 リエ	株式会社クインティ 代表取締役	元スロヴェニア大使館勤務 通訳案内士
5	宮崎 清治	元アイ・アンド・エス有限会社 取締役	スロヴェニアの会社の元 Agent
6	塚本レイ子	株式会社塩崎ビル 取締役会長	スロヴェニア産塩（ピランソルト）の輸入卸売販売